佐渡市報道資料

佐渡市 Niigata Sado City
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【本送信票を含む 3枚】

令和8年 10 月 30 日

新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業 シンポジウム「佐渡の鬼太鼓と新潟大学」を開催します

新潟大学人文学部と佐渡市教育委員会の連携協定に基づく事業として、シンポジウムを開催します。

今年度は3名の講師をお招きし、次のとおりご講演をいただきますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

1. 日　時　令和8年 11 月 14 日（土） 13:00～16:00（開場 12:30～）

2. 会　場　あいぽーと佐渡（佐渡インフォメーションセンター）

3. 内　容

【研究発表】　演題：鬼太鼓にみる面の制作技術と継承される造形
講師：新潟大学大学院　現代社会文化研究科博士前期課程　小澤　ゆい　様

【講　　演】　演題：鬼太鼓の近代
講師：新潟大学人文学部　准教授　中本　真人　様

【講　　演】　演題：企画展「佐渡の鬼太鼓と新潟大学」を終えて
講師：新潟大学人文学部教授・新潟大学旭町学術資料展示館長
田中　咲子　様

4. 定　員　100 名（申込不要・先着順・入場無料）

4 質の高い教育をみんなに

本件についての問い合わせ先
佐渡市教育委員会社会教育課
社会教育係　担当：中川
電話（直通）0259-58-7356

SDGs未来都市 佐渡市

新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業　シンポジウム

佐渡の鬼太鼓と新潟大学



参加費 無料

日時 令和8年11月14日(土)
13:00～16:00(12:30開場)

定員 100名(申込不要、先着順)

会場 あいぽーと佐渡(佐渡インフォメーションセンター)
佐渡市両津夷384-11

シンポジウム

研究発表	小澤 ゆい	(新潟大学大学院 現代社会文化研究科博士前期課程)	鬼太鼓にみる面の制作技術と継承される造形
講　演	中本 真人	(新潟大学人文学部准教授)	鬼太鼓の近代
講　演	田中 咲子	(新潟大学人文学部教授・新潟大学旭町学術資料展示館長)	企画展「佐渡の鬼太鼓と新潟大学」を終えて

お問い合わせ先　佐渡市教育委員会 社会教育課 社会教育係　TEL 0259-58-7356

主催：新潟大学人文学部　共催：佐渡市教育委員会

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

開催趣旨



この夏、新潟大学旭町学術資料展示館では、企画展「佐渡の鬼太鼓と新潟大学－鬼面の造形と制作技術の継承－」を開催しました（6月27日～8月8日）。この企画展では、佐渡の鬼太鼓をテーマに取り上げて、特に新穂・両津地域の鬼面を展示するとともに、その造形の多様性や継承のあり方を紹介しました。また平成22年に締結された人文学部・佐渡市教育委員会連携協定についても紹介し、その事業の一部である「表現プロジェクト演習Q」の授業風景や、これまでの佐渡学セミナー・シンポジウムのポスターなども展示しました。



本シンポジウムでは、この企画展「佐渡の鬼太鼓と新潟大学」の展示内容とともに、鬼太鼓の歴史や鬼面の造形に関する学術的成果も紹介します。その上で17年目を迎えた連携協定事業の歩みを振り返りつつ、今後のあり方を議論する機会としたいと思います。また、今回のシンポジウムを通して、佐渡の歴史と文化に対する新たな視点を得るとともに、鬼太鼓という郷土芸能を次世代に伝える契機とできれば幸いです。

プログラム

研究発表 **鬼太鼓にみる面の制作技術と継承される造形**　小澤 ゆい

講　演 **鬼太鼓の近代**　中本 真人



相川の善知鳥祭礼で行われていた鬼太鼓は、やがて佐渡島内各地へ伝わり、多様な型へと発展しました。近代になると、文化人の紀行文や著名研究者の論考、郷土芸能への関心の高まりを通じ、その存在は島外にも広く知られるようになります。本講演では、実際に鬼太鼓を見た文化人の文章をひもときながら、近代における鬼太鼓と、鬼太鼓が全国的な知名度を獲得していく歩みをご紹介します。

講　演 **企画展「佐渡の鬼太鼓と新潟大学」を終えて**　田中 咲子



今年6月27日～8月8日にかけて本学旭町学術資料展示館にて開催した本展は、佐渡の方々から全面的なご協力を頂き実現することができました。当館館長として、また展示企画者の一人として、貴重な経験と知見を得ることができた機会でもありました。本講演では、本企画展実現の舞台裏をお話しするとともに、本企画展を含めた本学の展示公開活動についてご紹介します。

ディスカッション